

「秋季 彼岸法要の案内」



令和3年9月

◇両讚寺秋彼岸法要

令和三年

九月二十六日（日曜日）

午後六時 開始
場所 両讚寺

○御回向承り日程

・九月二十四日 午後二時より

・九月二十五日 終日

・九月二十六日 終日

（二十四日は午前中諸用の為、右記時間より承っております。

二十五日、二十六は終日承っております）

◇恵心寺秋彼岸法要

令和三年

九月二十三日（秋分の日）

午後七時半 開始
場所 恵心寺



両讚寺
恵心寺

〒610-0343
京都府京田辺市
大住八河原九
宿谷真治
電話 0774-62-3137

本年も皆様のご協力をいただきながら、無事 お盆の供養を厳修することが出来ました。

今年はコロナ禍に加え、豪雨災害も重なり、厳しい行となることを覚悟しておりましたが、十四日の棚経のお念仏、十五日、十六日の施餓鬼法要の時間帯は不思議と雨も降らず、暑さも穏やかな状態で行うことができましたこと、仏菩薩、諸天、清龍権現様の加護があったのではと思います。

おかげさまで、初盆並びに各家のご先祖様への供養はもちろんのこと、コロナ禍の終息、地域並びに関係者の無病息災、災害に会われた方への復興、戦没者供養などの祈念を込めて、餓鬼への施食の儀式を行うことが出来ました。

地蔵盆は中止となりましたが、二十三日の晩は両讚寺本堂にて「地蔵菩薩本願功德経」を誦し、地域の水子供養、先祖供養、家門繁栄、息災延命、所願成就、さらにお盆が無事に終えられたお礼を地蔵菩薩に致しました。

人間という生き物は古来より、生存を維持する為に家庭や経済的な集まりを作って、外敵から身を守ってきました。集まりが出来てしまう以上、人は集まりの中で、自分自身がいるという意味を確認しなければ、不安を抑えることが出来なくなってしまうました。

自分の存在を確認したいという気持ちは時として暴走をさせてしまいます。その暴走をした時「傲慢さ」という気持ちは心の中に発生してしまいます。そうすると、その「傲慢」な状態をずっと維持できないか

もしれないのでは？という不安が発生してしまいます。そうになると、不安を回避するための「妄想」をしてしまうようになります。

その「妄想」は煩惱を発生させます。お経を読むことや修行を行うことは、その「妄想」の防止装置となります。朝に仏様にお線香を一本お供えする という行為だけでも、妄想の防止装置が働きます。そうすれば、いつもの会話や出会いそのものが、妄想を防ぐ為の教訓へと変わります。

この世で生きるということとは、絶えず妄想をしては反省の繰り返しです。コロナや災害、どのような状況でも、その繰り返しの中、共々に少しでも自分自身を向上することが出来ることが出来れば幸いです。